



「大地震」に備える!



地震から身を守るポイント 10

①第一に身の安全を守る

座布団、枕などで頭を守り、転倒のおそれがある家具から離れ、テーブル、ベッド、布団などの下にもぐる。



②火の始末

小さな揺れでは急いで火の始末をする。大きな揺れの場合は、揺れが収まってから調理器具や暖房器具などの火を消す。



③出口の確保

ドアや窓を少し開けて、逃げ道をつくっておく。



④火がでたら消火

「火事だ」と叫び、隣近所にも助けを求め、初期消火に努める。



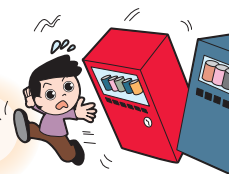
⑤慌てて飛び出さない

外へ出るときは、ガラスや瓦などの落下物に注意し、落ちていて行動する。



⑥危険な場所に近づかない

ブロック塀、門柱、自動販売機など倒れやすいものや川辺、崖、狭い路地に近づかない。



⑦がけ崩れ（津波）に注意

山間部（海沿い）の地域で揺れを感じたら、早めに避難態勢をとる。



⑧最小限の荷物で徒歩避難

指定された避難場所に両手は自由にして徒歩で避難する。



⑨隣近所で助け合い

高齢者や体の不自由な人、けが人などに声をかけ、みんなで助け合う。



⑩正しい情報入手

噂やデマに惑わされず、ラジオやテレビ、市役所など信頼できる情報をもとに行動する。



皆さん一人ひとりが日頃から防災について考え準備することで、自身の安全を確保できます。家庭で「できること」から取り組んで、地域全体の防災力向上に努めましょう。

■伊佐市は、南三陸町への職員派遣を行っています。

○被災地へ復興支援のため平成 24 年度から 1 年毎に職員 2 人を派遣しています。

※平成 26 年度は 1 人増員。

○派遣職員の活動状況等は、本紙「南三陸だより」をご覧ください。

3.11 東日本大震災の教訓を忘れない

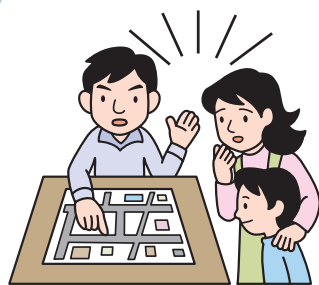
誰にとっても他人事ではない

地震は、いつか必ず、しかも突然発生します。地震発生そのものを避けることはできませんが、地震による被害を減らすための取り組みはできます。

過去、地震災害の人的被害のほとんどは室内で起きています。したがって、家の中での被災リスクを最小限にすることが最も有効な災害対策です。



地震に備える

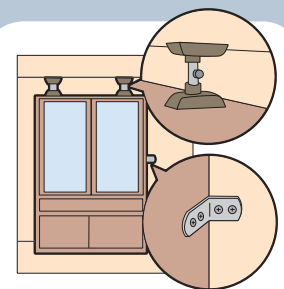


家族で役割分担

災害時の避難に支障のある高齢者、病人、子どもなどがある場合は、だれが保護を担当するか決めておく。

危険場所の確認

家の内外をチェックして危険箇所を確認し、修理や補強を行う。



- 通路や出入り口には荷物を置かないようにしましょう。
- L字型金具や転倒防止シールなどで転倒や落下を防ぎましょう。
※寝る部屋は特に安全に
- 窓ガラス等に飛散防止フィルムを貼りましょう。



家具の配置と転倒防止対策

家具の配置換えや転倒・落下を防ぐ工夫で安全なスペースを確保する。

非常持ち出し品の確認

家族構成を考えながら必要な品がそろっているか使用期限などは過ぎていないか確認する。

いざという時の連絡方法と連絡場所の確認

家族が離れているときの連絡方法や避難場所を確認しておく。

大災害が発生した時の家族の安否確認は…

□貴重品

現金（小銭）、預金通帳、印鑑、保険証など

□食料品等

飲料水、火を通さなくても食べられるもの。缶切り、ナイフなど

□衣類等

衣類、タオル、毛布など

□日用品

軍手、ローソク・マッチ、ロープ、懐中電灯、携帯ラジオ、ティッシュ、ビニール袋、生理用品など

□医療品

救急セット、常備薬など

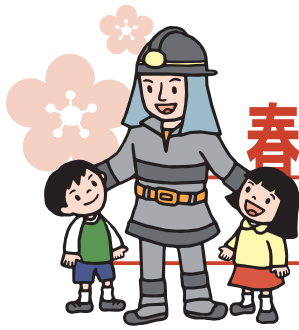
◎災害用伝言ダイヤル「171」を利用する

NTTでは、大地震発生などに災害用伝言ダイヤルサービスを開始します。サービスの開始はテレビなどでお知らせします。「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音「1」・再生「2」を選択してください。

◎携帯電話の「災害用伝言版」を利用する

携帯電話各社は大規模災害発生時などに災害用伝言版サービスを提供します。登録された伝言は、他社の携帯電話やパソコンからも確認することができます。

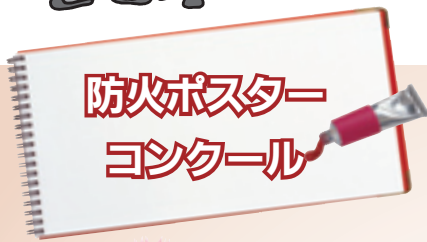




春季全国火災予防運動 期間 3月1日(土)～7日(金)

平成25年度の標語 『消すまでは 心の警報 ONのまま』

3月は空気が乾燥し火災が1年で最も発生しやすい時期です。
火の取扱いには十分注意してください。



伊佐湧水消防組合が春季全国火災予防運動の一環として、募集した防火ポスターコンクールに201点の応募がありました。入賞されたのは次の方々です。(市内小・中学校のみ抜粋、敬称略)



消防長賞



奨励賞



谷山響
(山野小3年)



久保田桂仙
(湯之尾小5年)



松野凌大
(大口東小2年)



猪野未晴
(大口明光学園2年)

金賞

高嶋明花 (南永小1年)

宇都真心 (湯之尾小5年)

田中萌 (大口明光学園2年)

久保田潤葉 (湯之尾小3年)

山口青空 (曾木小6年)

宮内麻美 (大口明光学園3年)

溝口颯大 (田中小4年)

川崎寧々 (大口明光学園1年)

銀賞

向江健生 (牛尾小1年)

上月脩生 (湯之尾小2年)

山下花菜 (大口小5年)

木村真子 (大口明光学園1年)

山脇菜々子 (大口明光学園3年)

福元悠斗 (曾木小1年)

田口琴子 (羽月小3年)

柱野真紀 (大口小6年)

森田京楓 (大口明光学園2年)

白坂咲人 (大口小2年)

早水冴夏 (山野小4年)

田中亜由美 (大口明光学園1年)

矢崎千聖 (大口明光学園3年)

銅賞

安樂龍之助 (大口東小1年)

北鶴美和 (曾木小2年)

森貴志 (牛尾小4年)

丸目幸弥 (針持小5年)

住友詩音 (山野小6年)

三好真瑚 (大口明光学園1年)

下口彩音 (大口明光学園3年)

轟木大翼 (本城小1年)

渡邊晴香 (山野小3年)

中村凌也 (湯之尾小4年)

新原大翔 (田中小5年)

中野陽和 (牛尾小6年)

岡崎薫 (大口明光学園2年)

田中彩芽 (大口明光学園3年)

熊ヶ迫海利 (羽月西小2年)

柿木あすみ (平出水小4年)

坂元弥生 (曾木小5年)

田中亜美 (山野小6年)

中村涼香 (大口明光学園1年)

展示期間 3月1日(土)～7日(金)

展示場所 ▽大口ふれあいセンター1階展示場 大口地区内小・中学校

▽市役所菱刈庁舎1階玄関ロビー 菱刈地区内小・中学校

問い合わせ先 伊佐湧水消防組合消防本部

☎20119



市では「わかりやすく、訪れやすい」窓口をつくり、「柔軟で行動的な」施策推進を効率的に行うために、4月から組織を一部変更します。

(変更のあった課のみ表示)

4月から市役所の組織機構を一部変更します



3月まで		4月から	
大口庁舎			
総務課	行政係 職員係 広報係 交通消防防災係	総務課 (本館2階)	行政係 職員係 交通消防防災係 電算管理係 (庁内電算システム管理)
企画調整課	秘書係 政策推進係 共生協働推進係 情報管理係	企画政策課 (別館2階)	秘書係 政策第1係 (行政運営・総合政策) 政策第2係 (開発・交通・広域連携) 政策第3係 (商工・企業・雇用) 共生協働推進係
地域振興課	振興開発係 企業立地雇用促進係 商工観光係 定住促進係	※企画政策課・伊佐PR課に再編	
税務課	市民税係 固定資産税係 収納管理係 滞納整理係	税務課 (本館1階)	市民税係 固定資産税係 収納管理係 (税の収納・滞納対策)
市民課	市民係 人権啓発係 健康保険係	市民課 (本館1階)	市民係 人権啓発・市民相談係 (人権啓発・市民相談) 健康保険係
健康増進課	健康推進係 保健指導係	※民生部門の再編	健康長寿課 (別館1階) 健康推進係 (おとなの検診、健康相談など) 高齢福祉係 (高齢者の生活支援) 介護保険係 地域包括支援係
長寿支援課	高齢者対策係 介護保険係 地域包括支援係		こども課 (別館1階) こども健康係 (こどもの検診・予防接種など) 子育て支援係 (障がい児・保育・医療費等の支援) こども相談係 (子育ての相談)
福祉事務所	子育て支援係 障がい者支援係 生活支援係 社会支援係		福祉課 (別館1階) 障がい者支援係 (障がい者の支援) 保護係 (生活保護に関すること) 社会福祉係 (社会福祉・地域福祉)
大口ふれあいセンター			
		伊佐PR課 (2階)	PR第1係 (広報PR・交流定住推進) PR第2係 (観光・特産・ブランド振興)
菱刈庁舎			
農政課	農政係 振興係 畜産係 耕地係 伊佐ブランド推進係	農政課 (2階)	農政第1係 (米・野菜等の振興) 農政第2係 (経営体・担い手育成支援) 畜産係 耕地係
建設課	管理係 道路維持係 土木係 建築係 住宅下水道係	建設課 (2階)	管理係 道路維持・施設管理係 (道路・公園等の維持管理) 土木係 建築係 住宅下水道係
大口ふれあいセンターから		社会教育課 (3階)	社会教育係 文化財係 (文化財の保全・活用)
伊佐市文化会館から		文化スポーツ課 (3階)	スポーツ係 文化係

問い合わせ先 企画調整課政策推進係

☎ 1311 ☎ 1124